

第4次総合計画改訂版素案に対する意見（第1部会 R5.6.15開催）への回答

第4回総計部会	
資料5	R5.7

大綱2 防災・防犯

政策1 災害に強く安心して暮らせるまちづくり

No.	委員意見		所管室課意見・修正案	所管室課名
	該当箇所	意見		
1	施策2-1-2	SDGsのゴール13「気候変動に具体的な対策を」から考えると、「レジリエンス（回復力）」という言葉が入っていないことが気になる。どこかに入れられる余地はあるか。施策2-1-2ならばこの言葉を入れても合致するのでは。	ご意見のとおり、施策2-1-2に加筆します 市民の防災意識や地域防災力・減災力及びレジリエンス（回復力）の向上を図るため、地域が主体となった講座や訓練などの取組が進むよう、市民への意識啓発や自主防災組織活動への支援などを行うとともに、地域における若者や女性などの参画が促進され、継続ができるよう取り組みます。また、事業者のBCP策定支援や官民学連携による本市の特性に応じた防災・減災推進体制強化を行います。	危機管理室

政策2 犯罪を許さないまちづくり

No.	委員意見		所管室課意見・修正案	所管室課名
	該当箇所	意見		
1	現状と課題	2段落目「さらに、大規模自然災害等、市民生活に重大な影響が生じる事象が発生すると、人々の不安や窮状につけ込むような手口の犯罪が発生しています。」の1文目は不要ではないか。あるいは「犯罪が発生」ではなく、「犯罪が増加」ではないか。2段落目は、現代社会の中で、犯罪が複雑化しているという整理でいいと思う。書きぶりを再検討いただければ。	ご意見をふまえ、第2段落を以下のとおりに修正します。 <修正案> さらに、 <u>新型コロナウイルス感染症に関連した</u> 詐欺やサイバー犯罪が増加するなど、犯罪が多様化・複雑化しています。	危機管理室
2	現状と課題 その他	政策2で暴力やテロについて語られていない。SDGsのターゲット目標では政策2でも当てはまる。施策1-1-3でDVについては語られているが、政策2に入れられないか。	ご意見をふまえ、以下のとおりに修正します。 <修正案> 市内の犯罪も同様に減少傾向にありましたが、令和4年（2022年）以降は増加しています。依然として、窃盗のほか、女性や子供を <u>狙った犯罪や、児童虐待や配偶者からの暴力・ストーカーなども後を絶ちません。また</u> 、高齢者を狙った犯罪も多発しており、特に、近年は、特殊詐欺の手口は巧妙化し、インターネットを利用した犯罪や新たな悪質商法なども増加しています。	危機管理室
3	施策指標 2-2-1	指標「女性や子供を狙った犯罪認知件数」の目標が0件だが、報告されないものもある。0件という目標は妥当なのか。	「女性や子供を狙った犯罪」は、あってはならないことであるため、目標値を0件としています。認知件数ではなく報告や相談件数の指標としても、報告や相談が減ればそれが正しいということでもないと考えます。犯罪につながる「声かけ」も0件にしていくということで、吹田警察とも協議の上、この指標を設定しています。	危機管理室